

むかしのようすをつたえるもの

町を歩いていると、わたしたちの町にも、むかしのようすをつたえるものが残のこされていることに気がつきます。



▲弘安十年銘石標
こうあん めいせきじょう

これは、尾岐おまた小学校がある仁にん王のうの地区に残されている道しるべです。いまから、700年以上いじょうも前のものです。

むかしからある地ぞう▶

この地ぞうは、旭たての館地区にある「館泉寺かんせんじ」というお寺にあり、この地区の人たちによってまも守られています。



▲馬うまの墓はか馬頭ばとう観音堂かんのんどう

950年ぐらい前、東北にせめ入った源義家みなもとのよしえが、その帰りに馬のなきがらを、旭あさひの杉原すぎはらの東地区にほうむったといわれ、それから、このあたりを「馬の墓」とよぶようになったといわれています。

